

創

—第94回—

多様な移動手段の確保を

コロナは医学的にはもう少しですが、社会的な終息を迎えたと言って良いでしょうか。元通りの社会に戻るのではなく、コロナを経験して、より成熟しアップデートされた社会を創らなければと思います。

深刻なのは、コロナで離職した、特に観光サービス業に従事していた方々が復職していただけない事です。主に高齢化が原因だと思われませんが、特に最近ではタクシー、バス運転手不足が顕著です。事業者の皆様は必死で頑張ってください。市としても夜間帯にはナイトバスを走らせたり、移住して運転手になっていただける方を対象に高額な支援金を準備するなど後方支援はしていますが、急回復にはほど遠い現状です。最近『ライドシェア』という言葉をよく耳にすると



別府市長

長野 恭紘

ます。日本でも緑ナンバーの車両だけでなく、一般ドライバーがタクシーと同様のサービスを提供できる仕組みができています。当然、一定の講習や車両点検、保険などが、市民生活や急回復する観光需要に十分応えられる可能性がある制度だと思います。

市としてはタクシー事業者の皆さんと協力し、既存のタクシーの配車と連動させ、そこで配車ができない場合にのみライドシェアが発動する、タクシーと共存共栄できる仕組みづくりを考えています。これからも、バスも含めて多様な移動手段で市民、観光客が困らない、人口減少社会でも持続可能な移動手段に対するの答えを示していきます。

(3月7日執筆)



フォトべっぴ



戦必勝への誓い—第96回選抜高校野球大会へ出場が決まった明豊高校野球部の表敬訪問があり、主将の山内真南斗さんと木村留偉さんが大会に向けての決意表明をしました。



雇の創出へ—2月11日、企業誘致により別府市に進出している企業と大学生の交流会 Terminal を初めて開催しました。参加企業が事業紹介をした後、グループに分かれて意見交換。笑顔あふれる中、双方が新しい気付きと学びを得る機会になりました。



火の元には気を付けよう！—3月1日、春季全国火災予防運動の一環で保育園児や消防本部の職員が街頭で啓発活動を行いました。子どもたちは拍子木を叩きながら通行人の皆さんに火の用心を呼びかけました。



食×観光の更なる可能性—2月21日、地元農産物を活用した持続可能な別府観光の付加価値向上を目的に、生産者と飲食・宿泊事業者や料理人との交流イベントを開催しました。さっそく商談に繋がったケースもあり、別府産食材の可能性を探る新たな機会となりました。